

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2017年6月4日 第267号

——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
TEL & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



文科省元幹部の告発で
一気に真実が見えてきた

5月25日、文部科学省の前川喜平前事務次官が会見し、加計学園の獣医学新設を「総理の意向」「官邸の最高レベルが言っている」などの「文科省の内部文書は本物・行政を歪める」と告発。事務次官とは事務方のトップであり前川氏は2016年6月から今年1月まで次官。会見は誰が見ても真実と信じるでしょう。

アベ首相の「腹心の友人」を優遇するために、国家戦略特区（議長アベ晋三）を担当する内閣府が難色を示す文科省に獣医学部を今治市とすること、新設の最終条件も今治市が選ばれべく書き換えられた事を示す内部文書です。

前号当欄で紹介した昭恵夫人のフェイスブックの写真は、今治市が国家戦略特区に選ばれた15年12月15日の9日後のクリスマススイヴで加計氏とアベ首相らが乾杯する写真と判明。

問われているのは権力者による政治の私物化であり、「政治の本質」に関わる問題で韓国では大統領が弾劾にまで至りました。野党から追及されたアベ首相は「関係法令に基づき実施し、圧力は一切ない」と逃げるが次々と新事実が出てきます。

菅義偉官房長官は「出所不明の文書」と言い続けるとともに、無関係な前川氏の過去まであばき個人攻撃を繰り返す様にはホンマに呆れました。これが日本の政権ナンバー2でアベ氏と同様戦争する国をめざす政治家だと思いました。（編集室）

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 6月2日 朝宣伝市駅前・吉宗像前、生活相談、昼宣伝
- 3日 メガソーラー署名行動
- 4日 映画鑑賞（校庭に東風吹いて）、県政市政報告会
- 5日 河西事務所無料生活相談
- 6日 団会議
- 7日 産廃対策会議
- 8日 市駅前事務所無料生活相談



河西後援会員M美容師さんの手作り人形。私も1つ頂きました

あきました
県の「国への提案と要望」に
部落差別固定化やIR推進法が

県は毎年この時期に来年度の施策と予算に関して「国への提案と要望」を出しています。その内容は「ひとを育む」しごとを創る」など6つの柱からなっています。この中には人権問題の解決に向けた施策の推進として人権が侵害された場合における被害者の救済を迅速に行うため、実効性のある法整備を早期に整備することや地方公共団体がきめ細かい人権啓発を積極的に推進するため、人権啓発活動地方委託事業の予算を確保するなど求めており、部落差別を固定化する法律制定の下でますます県民生活の中に差別を広げるものに

なっています。また県はIR推進法の地方創生の趣旨を十分に尊重し地方が地域の特性を生かしたIRを実現できるような仕組みづくりなどを求めています。ギャングブル依存症の対策を強調していますが、県政における地域経済振興としてのギャングブル依存症こそ手当をしなければなりません。例年取り組まれている要求を実現させるための大運動に、県民一人ひとりの暮らしの要求をどんどん出しましょう。生活相談所にぜひお届け下さい。（奥村のり子）

一口に「蜂蜜」と言うが

紀伊半島の奥地で暮らすMさんを訪ねたときのこと。キネとウスでついた熱々の餅に採ってきた蜂蜜をかけてもらって食べたことがあった。そのなんとも美味しい味をいまでも忘れることができない。里山に特有の花々やみかんの蜜を集めているからだという。

一口に「蜂蜜」と言っても、味はもちろん品質もピンからキリまである。場所、日照時間、気温、雨風、それに採る人の技量や経験で、その味は大きく変化するらしい。昨今、紀伊半島の各地には「道の駅」やそれに似た店があり、色々な蜂蜜が売られているのをみなさんもよく見ることでしょう。古来、南紀州一帯で採れる蜂蜜は江戸で評判が高かったという



奥地で出逢ったニホンカモシカくん

こと、これはあまり知られていないが、昔の文献にはよく出てくる話とか。評判が高かったのには理由がある。そこには、この地方に特有の自然環境が大きく影響しているというのだ。

紀伊半島には、梅にみかん、柿に桃など様々な果樹がある。れんげの花があり、多彩な広葉樹があり花々が咲く。ここを飛び交うミツバチが美味しい蜜を「生産」する。混じり気のない純粋蜂蜜は、びっくりするほど高価で手が出ないが、訪ねると食べさせてくれる友にはただただ感謝感激だ。

衆院1区予定候補
(党県副委員長)
原やすひさ

高価で手が出ないものもある